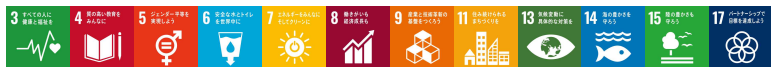


国立公園における滞在体験等の魅力向上事業



【令和5年度補正予算（案）1,270百万円】

国立公園利用の高付加価値化に向けて、利用拠点の面的な魅力向上に取り組み、滞在型高付加価値観光を推進します。

1. 事業目的

インバウンドが本格的に回復する中、国立公園満喫プロジェクトの新たな展開として、民間活用による国立公園利用拠点の面的な魅力向上の取り組みをモデル地域において集中的に実施する。併せて、感動体験を提供するアドベンチャータラベル（AT）や廃屋撤去による引き算の景観改善を推進し、滞在型・高付加価値観光の推進を図る。

2. 事業内容

国立公園満喫プロジェクトの新たな展開として、国立公園ならではの感動体験を提供する宿泊施設を中心とした利用拠点の面的な魅力向上に取り組む。

具体的には、モデル地域において、直轄事業により民間提案を取り入れながら利用の高付加価値化の基本構想及び利用拠点のマスタープラン等を策定するとともに地域における協働実施体制を構築し、宿泊施設とアクティビティが一体となった高付加価値で持続可能な利用を推進する。

併せて、構築した協働実施体制も活用しつつ、改正自然公園法に基づく自然体験活動促進計画制度の利用により必要な許可を不要とすることで自然体験アクティビティの更なる促進を図りつつ、当該計画の作成主体となる市町村等に対し、その効果的な運用事例を示すことができるよう、ATの5つの要素（ユニークさ、自己変革、ウェルネス、挑戦、自然・文化への影響最小化）や文化的要素を備えた自然体験を展開していくための事業を自治体、関係省庁と連携して実施するとともに、利用拠点内に存在する廃屋の撤去による引き算の景観改善を進める。

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和5年度

4. 事業イメージ



基本構想・利用拠点のマスタープラン策定の検討・策定、地域協働体制の構築、サウンディング調査等



アドベンチャータラベルの展開に向けた地域資源の洗い出し、連携枠組みの構築、体験の磨き上げ等

廃屋撤去による景観改善

